



オペレーターの太田垣遼さん

常識破りの活用法

東海バネ工業は多様なばねを開発、製造する。その中でも建物の制振装置などに使われる大型コイルばねの端面仕上げ加工で、山崎技研（高知県香美市、森尾孝博社長）の横形NCフライス盤「YZB88」を活用する。

操作を担当する太田垣遼さんは「フライス盤の導入以前は、コイルばねの端面仕上げには研削盤を使うのが社内の常識だった」と話す。しかし、研削加工時は粉じんが舞い、作業者への負担が大きかった。改善策としてフライス盤の導入を考

え、当時の担当者が山崎技研の本社へテストカットに赴いた。

初めはばねのたわみやびりりで安定した加工ができなかった。課題解決に向けて両社が情熱を注ぎ、テストカットとばねを固定するジグの改良を重ねたことで、問題を解決した。

粉じんが出ないだけでなく、さまざまなメリットがもたらされた。太田垣さんは「加工時間が最大4分の1に減った。面品位も大きく向上し、YZB88を導入したことによる恩恵は非常に大きい」と語る。（斉藤拓哉）

USER PROFILE

東海バネ工業

代表者：夏目直一 社長
大阪市西区西本町2-3-10

TEL 06-6541-3591

URL www.tokaibane.com

お気に入りポイント

- 1 粉じんが出ない
- 2 加工時間の短さ
- 3 面品位の高さ